

平成29年度 第2回
徳島県後発医薬品適正使用協議会

日 時 平成30年1月25日（木）
午後1時30分から
場 所 徳島グランヴィリオホテル
2階 蓬莱

一 次 第 一

- 1 開 会
- 2 次長あいさつ
- 3 議事等
 - ・ 後発医薬品の現状について
 - ・ 今年度の取組みについて
 - ・ 今後の取組みについて
 - ・ その他
- 4 閉 会

会 議 資 料

	ページ	
資料1 徳島県後発医薬品適正資料協議会設置要綱	・・・	1
資料2 後発医薬品の現状（厚生労働省資料）	・・・	4
資料3 今年度の取組みについて	・・・	9

徳島県後発医薬品適正使用協議会設置要綱

(目的)

第1条 医療関係者及び県民への後発医薬品に関する理解の向上と適正使用についての普及促進を図るため、徳島県後発医薬品適正使用協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次の事項について協議する。

- (1) 後発医薬品の正しい知識の普及に関すること
- (2) 後発医薬品に係る情報交換に関すること
- (3) その他後発医薬品の適正使用に関し必要なこと

(組織)

第3条 協議会の委員は、15名以内で、別表に掲げる関係団体の者とする。

- 2 協議会に会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の互選により選出する。

(会長及び副会長の職務)

第4条 会長は、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会長は、必要に応じて会議を招集し、その会議の議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(任期)

第6条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、徳島県保健福祉部薬務課に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成21年5月27日から施行する。
- 2 第5条の規定にかかわらず、最初の会議は徳島県保健福祉部長が招集する。

附 則

この要綱は、平成23年6月6日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別 表

徳島県後発医薬品適正使用協議会名簿

区 分	所 属 団 体 等
医療関係者	一般社団法人徳島県医師会
	一般社団法人徳島県歯科医師会
薬事関係者	一般社団法人徳島県薬剤師会
	徳島県病院薬剤師会
	徳島県製薬協会
	徳島県医薬品卸業協会
学識経験者	徳島文理大学薬学部
	徳島大学薬学部
消費者代表	特定非営利活動法人徳島県消費者協会
保険者代表	徳島市（国民健康保険）
	全国健康保険協会

徳島県後発医薬品適正使用協議会委員名簿

(H29.7.1~H31.6.30)
H29.10.1時点

	氏 名	所属団体等
医療関係者	木下 成三	徳島県医師会
	石本 卓司	徳島県歯科医師会
薬事関係者	田村 祥祐	徳島県薬剤師会
	伏谷 秀治	徳島県病院薬剤師会
	清水 優之	徳島県製薬協会
	赤松 弘之	徳島県医薬品卸業協会
学識経験者	庄野 文章	徳島文理大学薬学部
	土屋 浩一郎	徳島大学大学院 医歯薬学研究部
消費者代表	内山 眞弓	徳島県消費者協会
保険者代表	川原 正樹	徳島市（国民健康保険）
	品川 晴旨	全国健康保険協会徳島支部

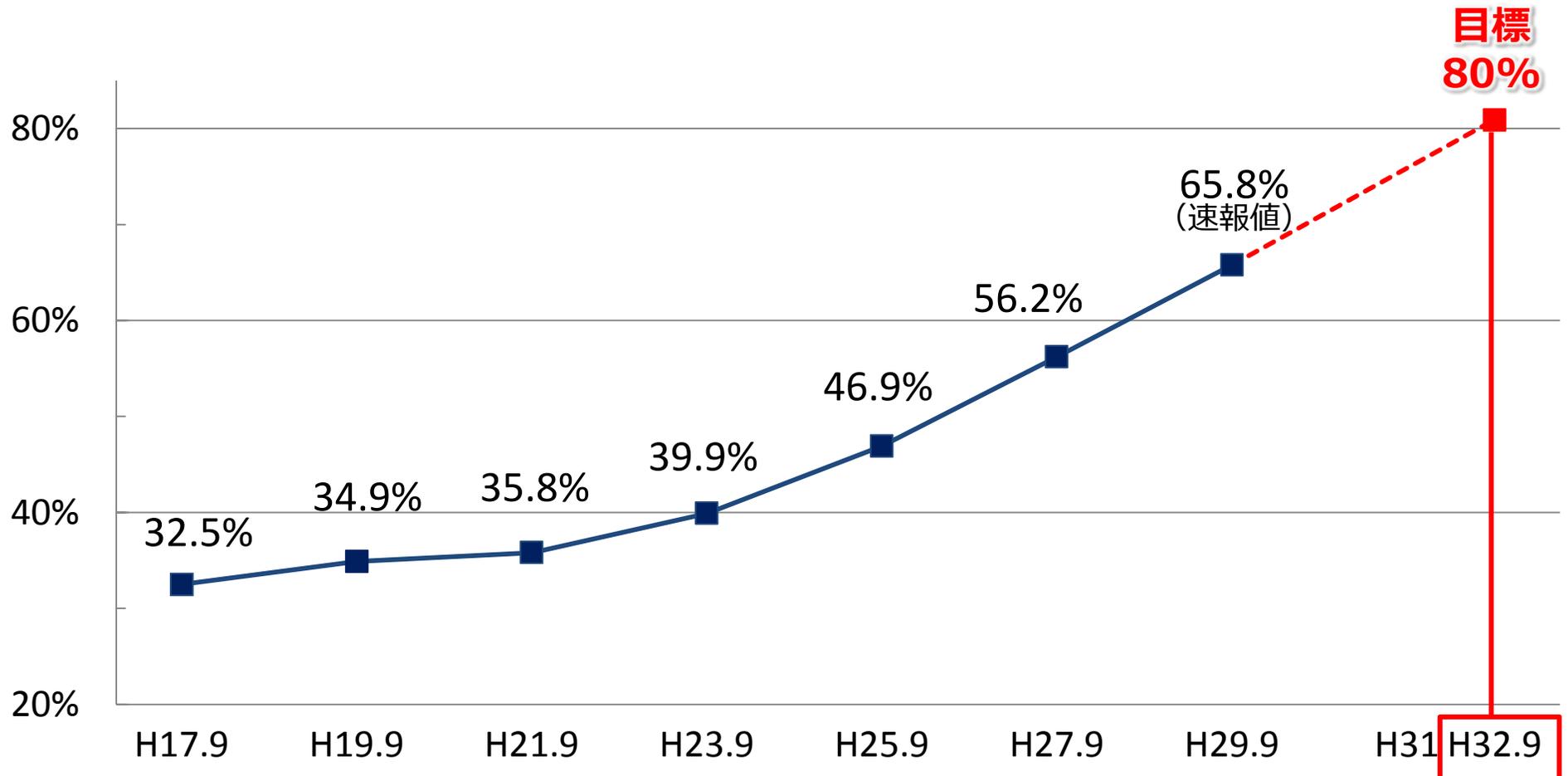
資料 2

後発医薬品の現状 (厚生労働省資料)

後発医薬品の使用割合の推移と目標

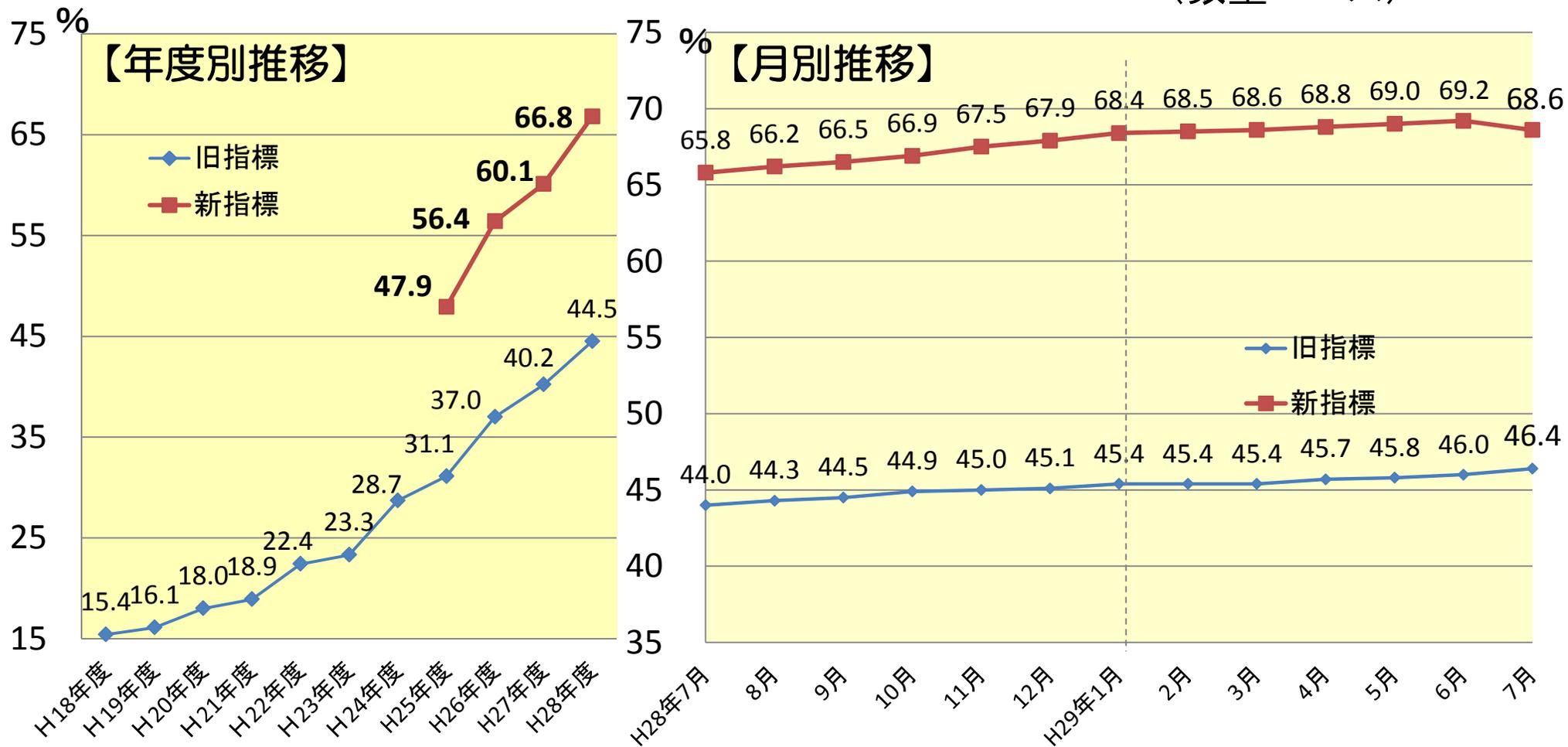
「経済財政運営と改革の基本方針2017」（平成29年6月9日閣議決定）（抄）

- ⑦薬価制度の抜本改革、患者本位の医薬分業の実現に向けた調剤報酬の見直し、薬剤の適正使用等
2020年（平成32年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。



注) 「使用割合」とは、後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品を分母とした「後発医薬品」の使用割合をいう。

「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」における後発医薬品割合 (数量ベース)



注1) 保険薬局で、レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトのデータをもとに分析したものであり、院内処方(入院、院内調剤)及び紙レセプトを含まない数値である(出典:「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」(厚生労働省保険局調査課))。

注2) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注3) 新指標とは、後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」で定められた目標に用いた指標)。

旧指標とは、全医療用医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア(平成19年に「医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム」で定められた目標に用いた指標)。

「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」における都道府県別後発医薬品割合 (数量ベース、%)

	29年7月	順位		29年7月	順位		29年7月	順位
北海道	70.2	18	石川	70.9	14	岡山	70.6	17
青森	70.2	18	福井	72.9	7	広島	66.0	40
岩手	74.7	3	山梨	62.3	46	山口	70.8	16
宮城	71.2	12	長野	72.4	9	徳島	59.5	47
秋田	68.8	30	岐阜	67.2	37	香川	66.5	39
山形	73.0	6	静岡	70.2	18	愛媛	69.6	25
福島	68.2	33	愛知	68.7	31	高知	63.5	45
茨城	68.1	34	三重	69.8	23	福岡	69.2	26
栃木	68.5	32	滋賀	68.9	29	佐賀	70.0	21
群馬	72.2	11	京都	65.9	41	長崎	70.0	21
埼玉	69.8	23	大阪	65.6	42	熊本	71.2	12
千葉	69.2	26	兵庫	67.9	35	大分	69.0	28
東京	64.4	44	奈良	67.6	36	宮崎	73.7	4
神奈川	67.0	38	和歌山	65.6	42	鹿児島	76.4	2
新潟	70.9	14	鳥取	72.6	8	沖縄	79.5	1
富山	72.4	9	島根	73.1	5	全国	68.6	—

注1) 保険薬局で、レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトのデータをもとに分析したものであり、院内処方(入院、院内調剤)及び紙レセプトを含まない数値である(出典:「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」(厚生労働省保険局調査課))。

注2) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注3) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

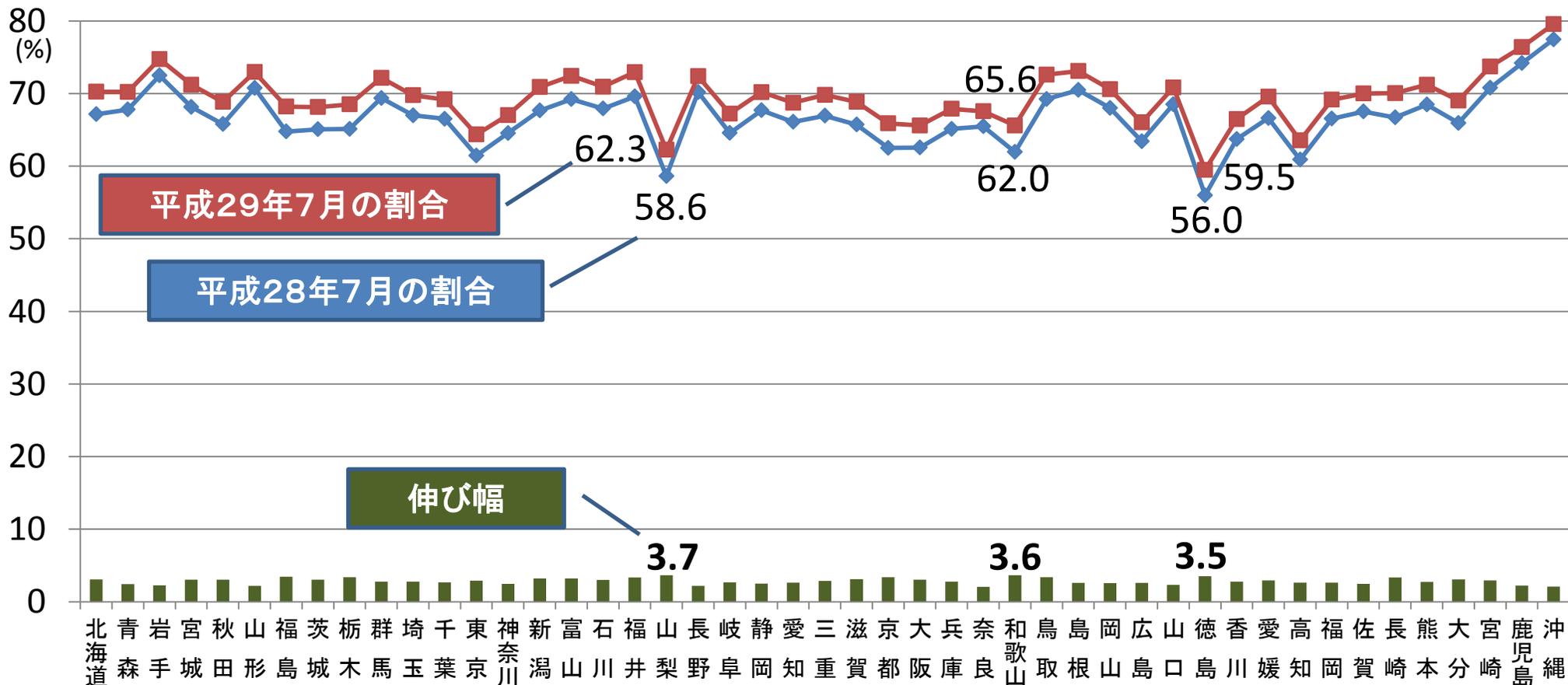
注4) 後発医薬品の数量シェア(置換え率)=[後発医薬品の数量]÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])

「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」における都道府県別後発医薬品割合

(数量ベース)

■伸び幅が大きい県 (平成28年7月→平成29年7月)■

- ① 山梨県: 3.7% (58.6% → 62.3%)
- ② 和歌山県: 3.6% (62.0% → 65.6%)
- ③ 徳島県: 3.5% (56.0% → 59.5%)



注1) 保険薬局で、レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトのデータをもとに分析したものであり、院内処方(入院、院内調剤)及び紙レセプトを含まない数値である(出典:「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」(厚生労働省保険局調査課))。

注2) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注3) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注4) 後発医薬品の数量シェア(置換え率)=[後発医薬品の数量]÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])

資料 3

今年度の取組みについて

今年度の取組みについて (平成29年度事業)

1

平成29年度事業

- 徳島県後発医薬品適正使用協議会の開催
平成29年8月, 平成30年1月
- 金融機関等に対する協力依頼
- 薬局オーナーに対する聴きとり調査
- セミナー開催

2

平成29年度事業

- 薬局が核となる後発医薬品使用促進対策事業
- 県民が受け入れやすい情報提供に関する調査研究
- 県民へのアンケート調査
- 後発医薬品採用リストの作成

3

○セミナー・講習会等実績 (平成29年12月31日時点)

- ・各保健所による出前講座
- ・シルバー大学校(3回)
- ・徳島県個人タクシー協会研修会
- ・くすりに関するセミナー(H29.11.23) 等

計13回 544名

4

[保健福祉部]

新 薬局が核となる後発医薬品使用促進対策事業

【平成29年度当初予算額 1,000千円】

事業の背景

骨太の方針2015
 ・国の「経済財政運営と改革の基本方針2015」において、平成30年度～32年度末までの早い時期に**後発医薬品数量シェア80%以上**

後発医薬品使用割合(数量ベース)

- ・全国平均 63.1%
- ・徳島県 **53.3%** (H28.3月時点) → **全国最下位**

県財政構造改革基本方針(H29～31年度)
 ・「社会保障関係費」の増大抑制改革として、**後発医薬品の利用を促進し、医療費増大の抑制を図る**

薬局(薬剤師)の力をもっと活用!

事業の概要

各世代に応じた周知・啓発

- 若い世代に対する周知・啓発
 - ・大学祭での啓発
- 高齢者のリーダーからの情報発信促進
 - ・シルバー大学校等の講座を活用した周知・啓発

新たな手法による情報提供・説明

- 未来の薬剤師のコミュニケーション能力向上・人材育成
 - ・モデル薬局でタブレット端末を使用
 - ・実習中の薬学生が中心になり、後発医薬品に関する情報提供・説明

調査研究

- 医療費適正化につながる効果的な対策の検討
 - ・大学との共同研究として、現状・課題の分析と対応策を検討

【ゼロ予算事業】
 健康サポート「薬剤師出前相談」事業
 ・「薬局から地域へ出かける薬剤師」による相談

後発医薬品に対する理解が深まる

大学・薬剤師会との連携

後発医薬品の適正使用促進!

担当:業務課

○薬局が核となる 後発医薬品使用促進対策事業

各世代に応じた周知・啓発

- ・若い世代に対する啓発
 - 徳島大学、徳島文理大学
 - 鳴門教育大学、四国大学の大学祭での啓発
- ・高齢者のリーダーからの情報発信
 - シルバー大学校講義(年度末までに計5回)
- ・薬剤師出前相談事業における啓発やアンケート調査(県西部)

○薬局が核となる 後発医薬品使用促進対策事業

新たな手法による 情報提供・説明



- ・H29年9月～11月
県内5カ所のモデル薬局で実施
- ・モデル薬局で実習中の
徳島大学及び徳島文理大学の薬学生も参加



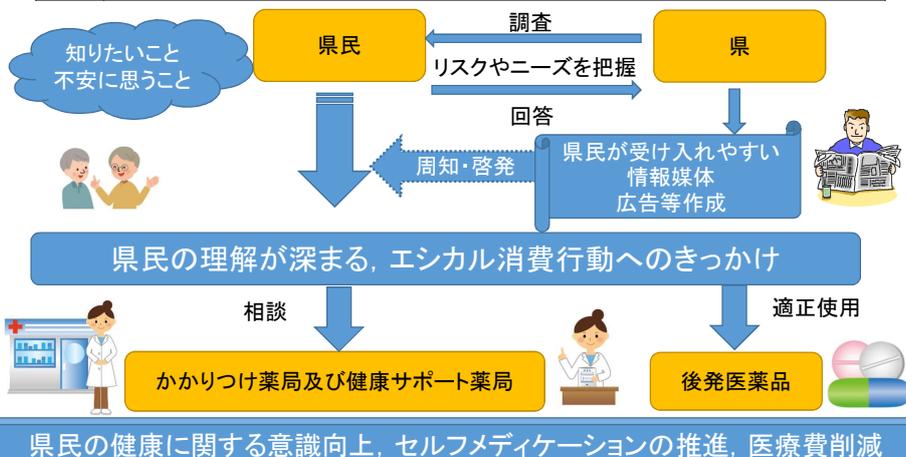
調査研究

- ・モデル薬局での事業を活用して課題等分析

【調査研究概念図】

「ジェネリック医薬品やかかりつけ薬局及び健康サポート薬局に関する県民が受け入れやすい情報提供」の調査研究

目的 県民が受け入れやすい「ジェネリック医薬品」や「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」に関する効果的な啓発方法（情報提供媒体）について検討する



○県民が受け入れやすい情報提供に関する調査研究

県民へのアンケート 計610名

・知りたいこと、知る方法等

ちらし（案）に対する 県民へのアンケート

・わかりやすい、わかりにくい



ちらし（案）に対する 県民へのアンケート 1

- (1) 実施日 平成29年11月18日(土)
- (2) 場 所 イオンモール徳島
- (3) 人 数 買い物客等 計 94名
- (4) アンケートの方法
 - ① 2種類のA3サイズのちらしと、B2サイズのパネル
A ジェネリック医薬品
B かかりつけ薬局及び健康サポート薬局
 - ② 「印象に残った」、「わかりやすい」、「今回知った」と感じたA及びBのそれぞれ一カ所に、緑のシール
 - ③ 「わかりにくい」と感じたA及びBのそれぞれ一カ所に、赤のシール



10

ちらし（案）に対する 県民へのアンケート 2

- (1) 実施日 平成29年11月23日(木)
- (2) 場 所 徳島グランヴィリオホテル
- (3) 人 数 くすりに関するセミナー参加者 計43名
- (4) アンケートの方法
 - ① アンケート用紙として2種類のちらし
A ジェネリック医薬品
B かかりつけ薬局及び健康サポート薬局
 - ② 「印象に残った」、「わかりやすい」、「今回知った」と感じたA及びBのそれぞれ一カ所に、丸印
 - ③ 「わかりにくい」と感じたA及びBのそれぞれ一カ所を二重線で消す
 - ④ 後日に○印の箇所に緑のシール、二重線の箇所に赤のシールを貼り付け集計

11

○県民が受け入れやすい情報 提供に関する調査研究

- ・年度末までにまとめ



○後発医薬品採用リストの作成

- ・災害拠点病院等に対して依頼中



後発医薬品に係る講習会実績（平成29年度）

H29.12.31現在

年月日	講座名	主催	対象者	人数	保健所名等
1 H29.5.9	薬の使い方, ジェネリック医薬品について	阿波池田ロータリークラブ	同クラブ会員	29	三好
2 H29.6.29	正しい薬の飲み方, ジェネリック医薬品について	池田町上野地区住民福祉協議会	地域住民	28	三好
3 H29.7.6	出前講座(「薬との正しくつき合うには」内でジェネリック医薬品について紹介	社会福祉法人 由岐福祉会	地域住民	11	美波
4 H29.7.21	薬のいろいろ薬立つ話	すみよし団地自治会	すみよし団地会員	18	徳島
5 H29.7.25	薬の正しい飲み方	清水地区住民福祉協議会	清水老人クラブ	23	三好
6 H29.8.3	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(鳴門校)	シルバー大学校	50	薬務課
7 H29.8.17	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(吉野川校)	シルバー大学校	56	薬務課
8 H29.8.24	薬のいろいろ薬立つ話	徳島市教育委員会	学校給食調理員	160	徳島
9 H29.10.4	薬の正しい飲み方	三好市社会福祉協議会井川支所	あじさいクラブ	15	三好
10 H29.10.18	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(東みよし校)	シルバー大学校	34	薬務課
11 H29.11.13	くすりの使用についての豆知識	徳島県個人タクシー協会	個人タクシー事業者	45	薬務課
12 H29.11.23	くすりに関するセミナー	徳島県	県民	56	薬務課
13 H29.11.28	薬のいろいろ薬立つ話	クックなると	クックなるとのメンバー	19	徳島

計 544

ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、 健康サポート薬局に関するアンケート

結果その1(ジェネリック医薬品関係)

調査期間 平成29年8月～10月

調査対象 シルバー大学校

くすり与健康フェア

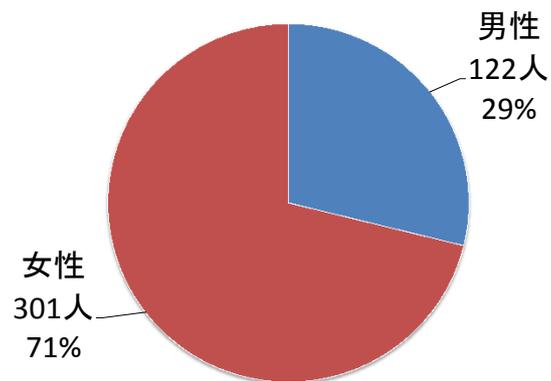
大学祭(徳島大学、徳島文理大学)

薬剤師出前相談事業(県西部)

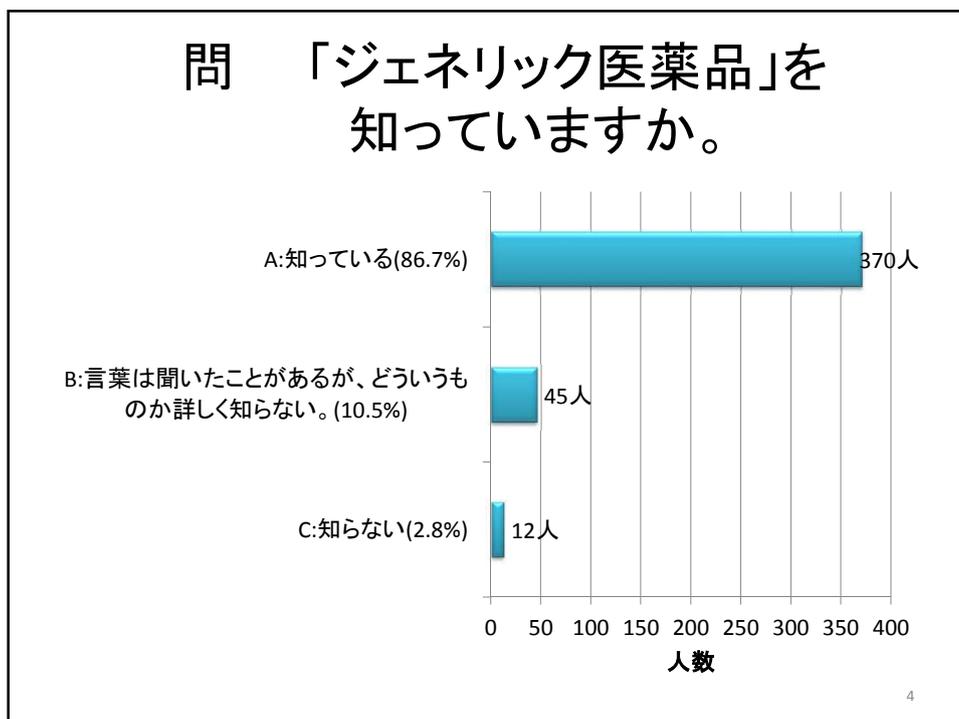
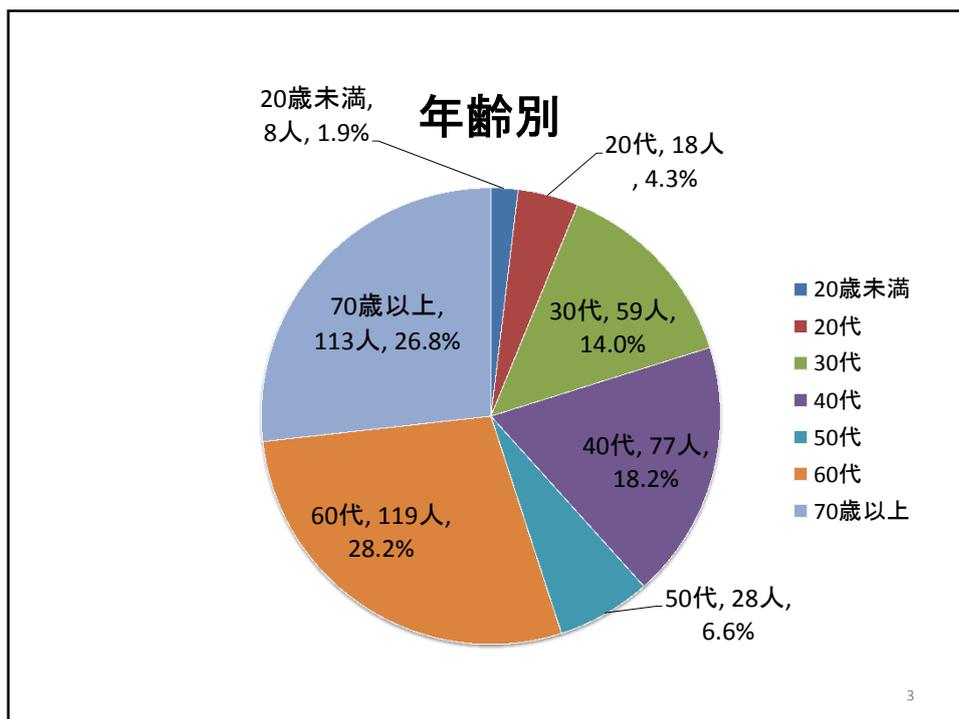
回答状況 回答者数 計428名

1

男女別

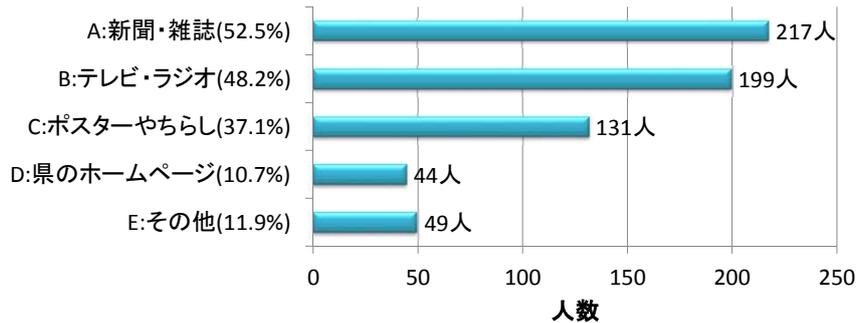


2



問 「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段

「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段として、あなたが利用したいものは（上位2つまで）



5

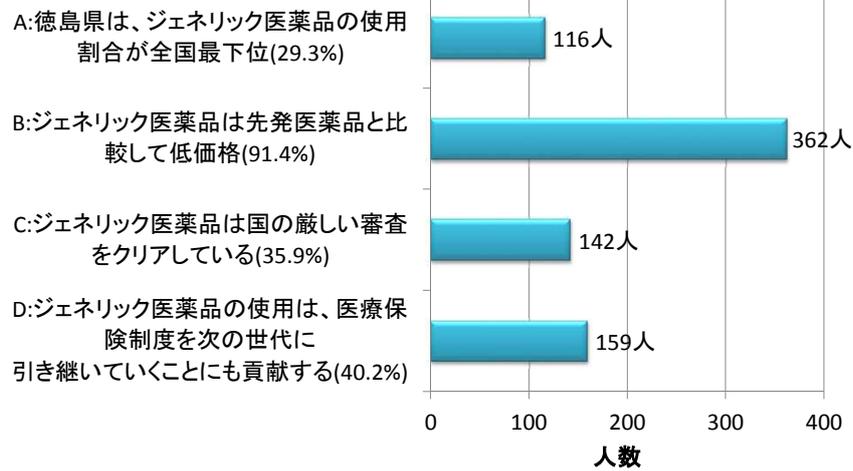
知る手段 その他意見(主なもの)

- ・ インターネット
- ・ アプリ
- ・ 薬を扱っている(売っている)ホームページ内
- ・ 保険組合からPR
- ・ 病院
- ・ 医師、薬剤師
- ・ 調剤薬局
- ・ かかりつけ医
- ・ かかりつけ薬局
- ・ 販売員が積極的に教えてくれること
- ・ シルバー大学校
- ・ 市の公報
- ・ 公報等で大きな字型で意味をひと内容で表示して欲しい
- ・ 市報を利用し「おれこみ」をしたらよい。
- ・ 市役所からジェネリックなどの通知が送られて来た
- ・ ジェネリック医薬品の案内
- ・ ダイレクトメール
- ・ 講演会
- ・ 講義
- ・ 社内社員勉強会にて
- ・ 専門学校の授業で学んだ
- ・ 大学の講義で習った
- ・ できれば詳細に書いたチラシみたいな宣伝文を配布されると良いと思う

6

問 「ジェネリック医薬品」に関する ことで既に知っている内容

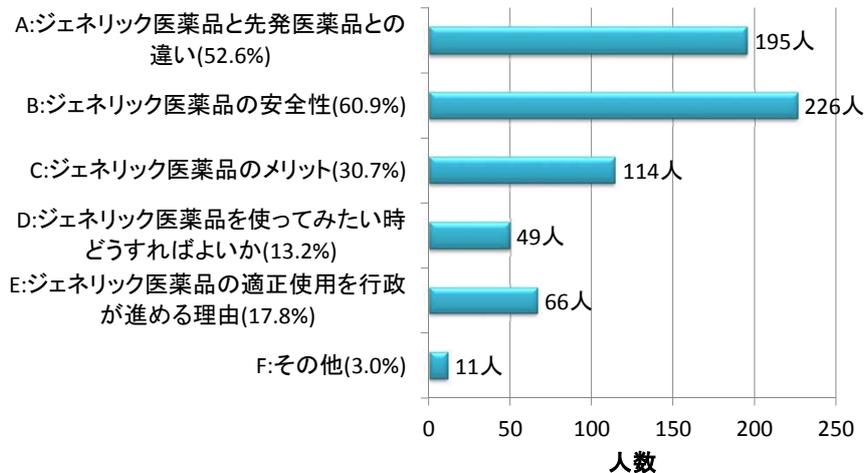
(複数回答可)



7

問 「ジェネリック医薬品」に関する ことで、特に知りたいこと

(上位2つまで)



8

自由記入の内容

問 「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」に関する自由御意見を記入してください。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・効果を知らせてくれない。副作用をあまり説明してくれない。 ・どういう副作用がどれくらいの期間で出てくるのかきちんと知らせてほしい。 ・国の厳しい審査ということに信用がおけない。（現状の政治を見て）
2	①ジェネリック医薬品の普及を医師に願う。②薬局の人材不足とスーパー等の販売では個人の管理、指導が難しい。
3	かかりつけのお医者さんは聞いたことがありますが、かかりつけ薬局と健康サポート薬局は知らなかった。また情報を知りたいと思います。
4	かかりつけ薬局が近くにないので、病院内に薬局のある所を選んでる。
5	かかりつけ薬局を持っていないので、出張相談、健康サポートしてくれる薬局例、地区別に知らせてほしい。今現在あるのかな？
6	この薬はジェネリックの方でも大丈夫ですよの案内説明
7	ジェネリックと普通の薬とのちがいがわからない
8	ジェネリックについては、かかりつけ医に念のため、きいてから使っています。まだ不安なので。
9	ジェネリックについては、知っている方が多いと思うが、健康サポート薬局については、その目的や意義、存在を知らない方が多いと思うので、啓もう、啓発して頂きたい。
10	ジェネリックの安全性についてはどうしても不安です。
11	ジェネリックの説明を聞き皆に使ってほしい。
12	ジェネリックを希望したのですが、現在使用している薬が良く効いているので、このままの薬で行きましょうと言う事がありました。
13	ジェネリック医薬品が安全安心ならば何の問題もないので使いたいと思う。
14	ジェネリック医薬品についてDrからも説明してほしい。
15	ジェネリック医薬品に関する事は、医師からの説明をしてほしい。
16	ジェネリック医薬品に関する事は、薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明をしてほしい。
19	ジェネリック医薬品の安全性についての説明がほしいと思います。
20	ジェネリック医薬品の臨床試験も実施してほしい。先発品とジェネリック品とのいろんな比較表を作って説明してほしい。

自由記入の内容

21	ジェネリック医薬品は、効き目が低いのと違うかなと思う。医師がジェネリックにもあるとか薬効がどうであるかとの説明がほしい。医師の説明不足が大きいと思います。調剤薬局へ行ってジェネリックと言っているのかなあ～？
22	ジェネリック医薬品をなお知りたいです。
23	ジェネリック医薬品を院内でもらうことができず、院外で処方してもらうと、薬の値段は安くなるが、トータルの費用が高くなるのがイヤ。
24	ジェネリック医薬品を利用したいのに、その旨を医師に言えない場合は、薬局店で利用できるようにしてほしい。
25	ジェネリック他の薬でも、続ける事が良いかと思っています。
26	ジェネリック品が増えることを期待しています。
27	どの薬がジェネリックなのか。
28	どの薬がジェネリックにできるかよくわからないので、できるだけ掲示してほしい。
29	もう少し薬品の相違について、くわしく周知してほしい。
30	わかりません
31	安全性を積極的に説明してほしい
32	医師がジェネリックを使うのを？メーカーとの関係。医師から積極的に進めれば薬代は大きく下がる。
33	医師がジェネリック医薬品を処方してくれたら普及するのでは。
34	医師から、もっと説明してほしい。薬剤師さんは良く説明してくれる。
35	医師からカルテに決定するのが良いと思います。
36	医師からジェネリックの薬の説明はなく、薬局で言われてジェネリックに変更した。
37	医師からの案内が不十分だと思います。
38	医師の診察結果や、最近の体調をきさくに聞いてくれる中で、アドバイスを入れて患者にとって話し易く、相談しやすい関係作りを大切にする。
39	医師の方から積極的にジェネリック医薬品を処方して欲しい。
40	医師を信頼しているのでなるべく薬は服用したくないので薬はジェネリックにかえたくない。
41	飲むタイミング、効能など簡潔にまとめて紙で欲しい。

自由記入の内容

42	患者は病院から出された薬を素直に受けているので、ジェネリック医薬品使用に関しては、医師、薬剤師の方にまず積極的に指導してほしいと思います。
43	肝臓にはジェネリックをひかえてほしいと医者に言われました。薬局の方にはどうしたらよいか説明してほしい。
44	気軽に相談にのって下さい。
45	金属チューブに入った薬の使用期限がとても見にくい。わざと見にくくしているのでしょうか。(チューブの巻き終りのところに打ち込みされているが、チューブと同色なので見えない)
46	健康サポート薬局が増えて来ており、頼りやすくなっている。
47	健康サポート薬局とは。
48	健康サポート薬局について詳しく知りたい
49	県は医療費を抑えるためジェネリックを勧めているが、医師の診療が一方向的にすすめ、医療費を上げていると思う。
50	現在何も薬を服用していないので特になし。
51	今回の講座は大変良かった。
52	今後も利用したい
53	今使っている薬の説明には、後発はありませんとあるので、ジェネリックには変えられませんか？今の薬で体調は快調なので、変えると副作用が出る恐れもあるのですが・・・。
54	今日初めて先発薬、ジェネリック薬品とのちがいが正しく理解できたと安心しました。今少し、ジェネリックについて広く知らせる方がいいのでは。
55	市の公報等で丁寧にわかりやすく説明表示して欲しい。
56	私が行く薬局では、大体すすめてくれるので、ジェネリック医薬品を使う事が良くあります。
57	私のかかり付け薬局はジェネリック薬品を使用していない。シップ薬などはジェネリックは悪い。
58	処方せんを書く時点でジェネリックにするかどうか聞いてほしい
59	処方薬の何割位にジェネリック医薬品があるのか。
60	少ししか行きません。
61	上の(例)の通りです。お医者さんが積極的にすすめたらよい。問11の説明を県が勧めたいのであれば、徳島県が1日野菜を350g取るよう推奨して効果があったような、あんな運動をしたら効果がありそう。
62	製薬会社などの信用性なども説明してほしい。

自由記入の内容

63	積極的に説明して下さるとありがたいです。
64	説明して欲しいです。
65	説明や宣伝をしてほしい。
66	説明をうけることがあれば、わかりやすいと思う。
67	説明をしてほしい。
68	説明を受けて、カード提示は常にしている。
69	先発医薬品がよくきくと思うが。
70	先発医薬品ではないと駄目だと思えるものもあるし、ジェネリックは価格だけの問題ではないと言うのも聞き難いです。内容（成分）が100%同じか？無いとか？先生の説明がないようにも思いますし、飲む側はすごく疑っている事が多いです。
71	調剤薬局ですすめてくれるとよい。薬剤師の説明。
72	長期間服用する場合のリスクについて知りたい。
73	徳島は本当にインフラ同様に健康管理ができてないことを感じた。
74	年金、介護、医療、年金・・・と厚生大臣も大変。余り変わらないのであれば、安い旧来のものでもよいのでは？
75	病院・医院の指定薬局を指示される。薬局をスーパーマーケット等の横に出来たらうれしいです。
76	病院がジェネリックをすすめてほしい。
77	病院が休みで薬きれた。病院でもらった薬の写真付シートを持って行けば薬買えますか。
78	病院でもらったお薬と薬局へ行くと効能は同じです、と言って〇〇が少し違うという事で病院でもらった分と違う薬をくれる。私達は指定された分がなぜ変わるのか、薬局のされるままになっている。値段的、副作用等わからないが指定と変わるので信用出来るかどうか、わからないで使っている。
79	品質のよいジェネリック医薬品の流通に期待します。
80	本日生のお話を聞きジェネリック医薬品につき、よくわかりました。これから利用したいと思います。健康サポート薬局と云う言葉は今日はじめて聞きました。
81	目ぐすりは容器の使いやすさ。錠剤などの印字ははっきりとかいてほしい（くすりの外側）。
82	薬についてほとんど知らない
83	薬に対する知識がどの程度なのか疑問に思うことがある。
84	薬局の対面対応に個人情報に注意してほしい。

自由記入の内容

85	薬局へ行った時、変更できるかどうかを説明してほしい。
86	薬局受診時に必ずジェネリックにするか確認してくれるので、とても感謝している。
87	薬効に差がないことを示してほしい。
88	薬剤の値だんは変わらないと言われた。
89	薬剤師さんから色々薬をもらう時にジェネリックのことは説明してくれます。私はジェネリックを使用しています。
90	薬剤師さんとの健康サポートのお話
91	薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明してほしい。

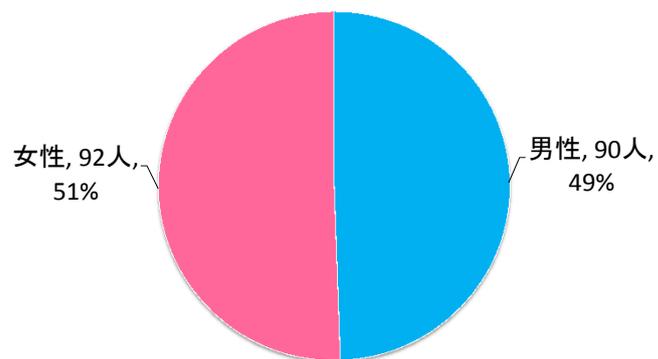
ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、 健康サポート薬局に関するアンケート

結果その2(ジェネリック医薬品関係)

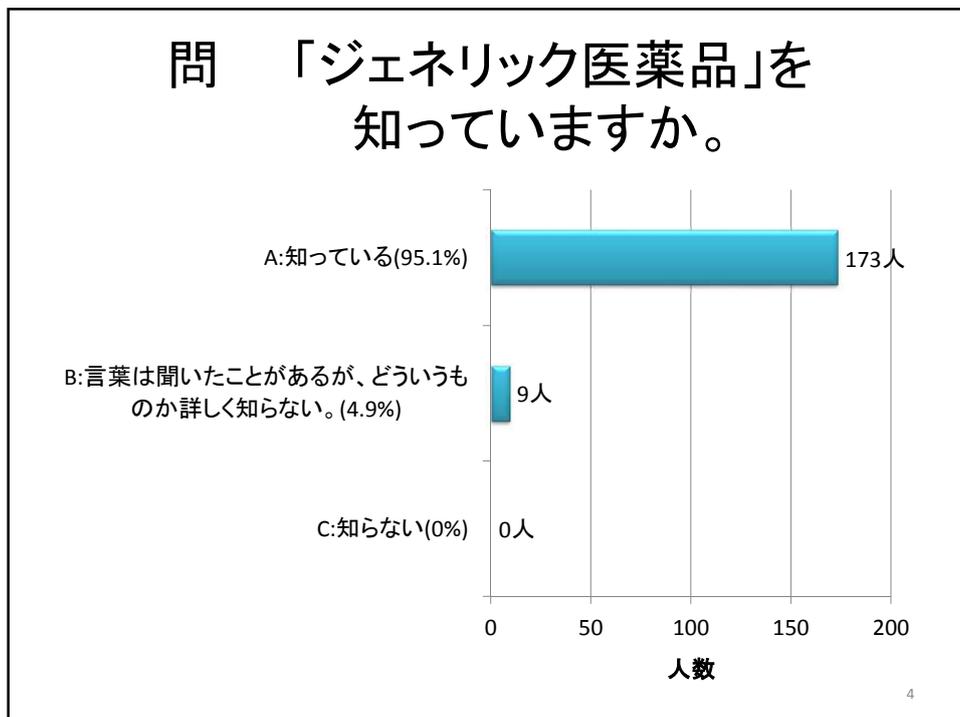
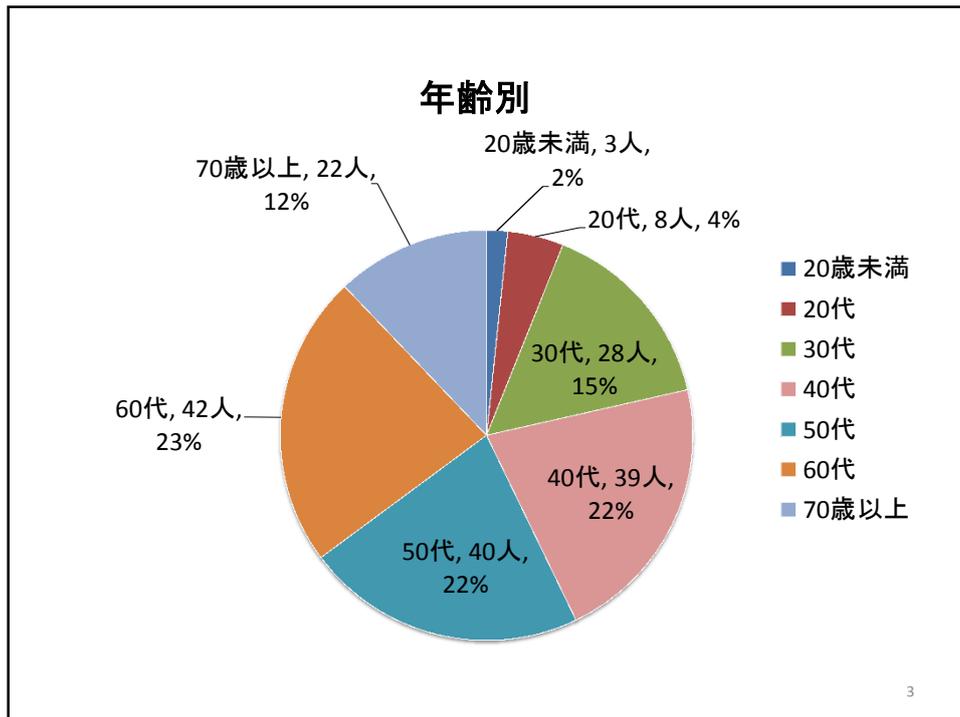
調査期間 平成29年10月26日～11月8日
調査対象 オープンとくしまe-モニター 200名
回答状況 回答者数 182名 回答率91%

1

男女別

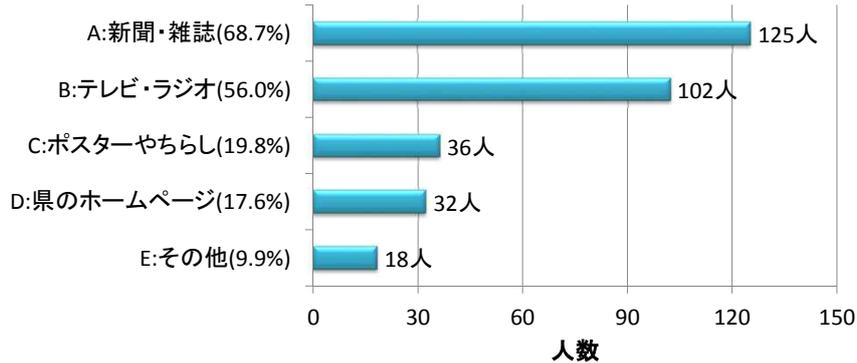


2



問 「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段

「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段として、あなたが利用したいものは（上位2つまで）



5

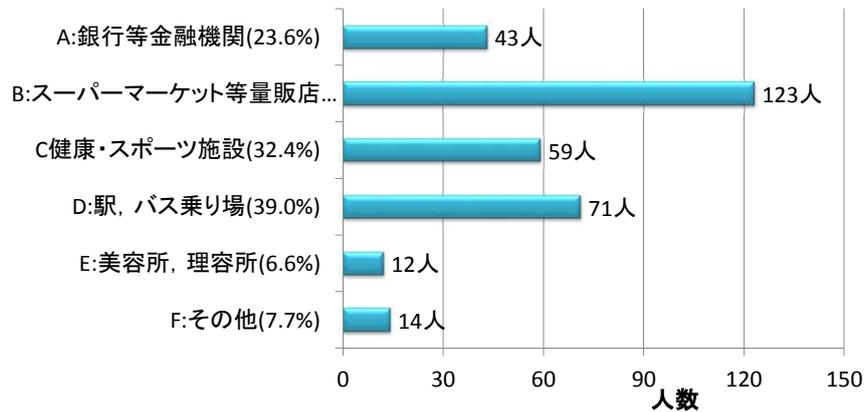
知る手段 その他意見(主なもの)

- インターネット
- スマホ
- 口コミ
- 医療機関
- 薬局
- 健康保険組合からの情報提供(広報誌)
- 県や市の広報
- SNS
- 厚生労働省のホームページ
- 大学
- 学校での健康教育の一環として
- 医師や専門家からのアドバイスや情報として伝達してもらいたい。
- いままで説明を受けたことない。

6

問 「ジェネリック医薬品」等のポスター 掲示場所

病院や薬局以外で「ジェネリック医薬品」等のポスター
掲示場所として効果が高いと思われるのは(上位2つまで)



7

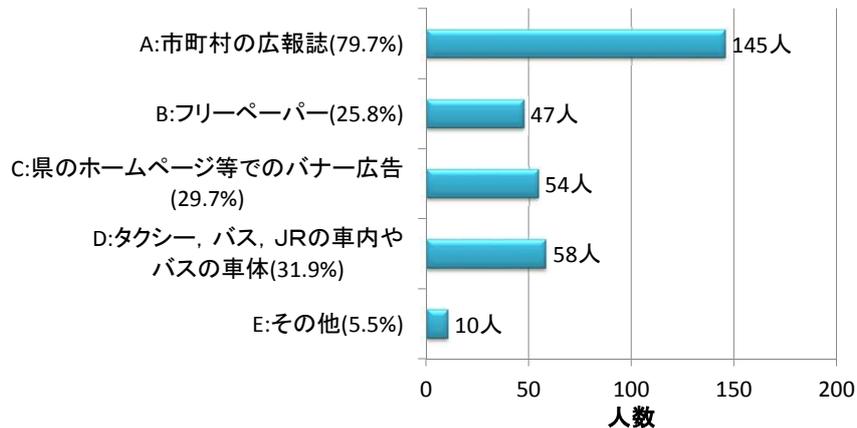
ポスター掲示場所 その他意見(主なもの)

- ・ 銭湯、温泉
- ・ 図書館
- ・ 健康促進
関連施設
- ・ SNS
- ・ 病院
- ・ 病院
- ・ 役場
- ・ 学校
- ・ ドラッグストア
- ・ 新聞広告
- ・ コンビニ
- ・ トイレの
内ドア
- ・ 市町村役場
の保険課の
窓口
- ・ ポスターは
効果が薄い。
(直接説明する
のが高齢者に
は最適)

8

問 「ジェネリック医薬品」等の広告掲載場所

新聞以外で「ジェネリック医薬品」等の広告掲載場所として効果が高いと思われるのは(上位2つまで)



9

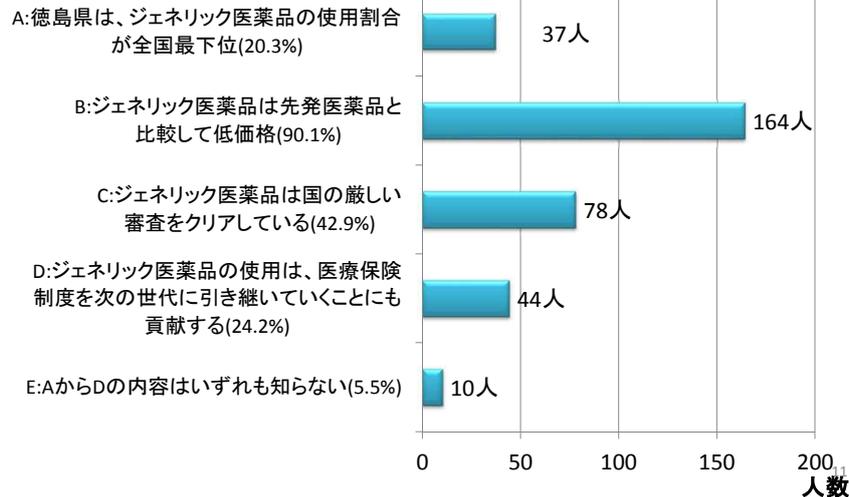
広告掲載場所 その他意見(主なもの)

- 病院
- 道路パトロールカーや、徳島県所有の公共車両
- 保険証を差し込むカード入
- タウン誌
- お薬手帳
- 薬局でくれる薬の袋の裏
- テレビ
- ラジオ
- コインランドリーなど、時間待ちする所はチラシなどを見る時間がある
- 無料配布のチラシをスーパーやコンビニ等にフリーペーパーのように置いて欲しい

10

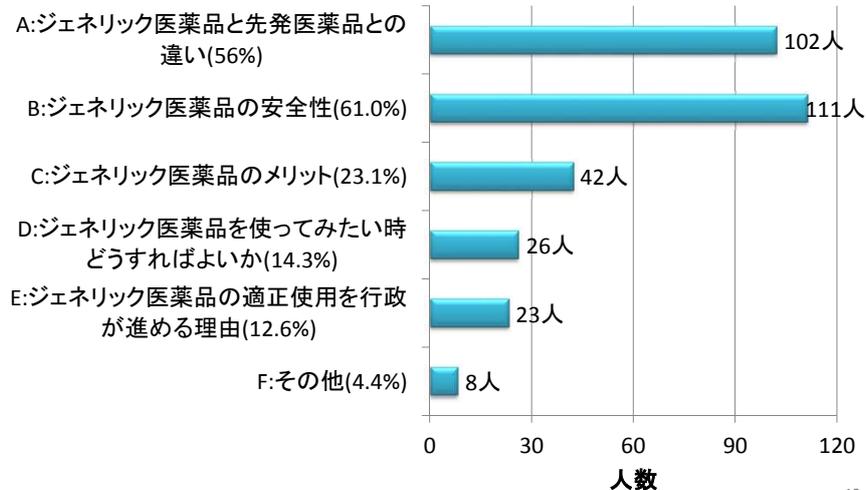
問 「ジェネリック医薬品」に関する ことで既に知っている内容

(複数回答可)



問 「ジェネリック医薬品」に関する ことで、特に知りたいこと

(上位2つまで)



自由記入の内容

問 「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」に関する自由御意見を記入してください。	
1	説明して欲しいけれどジェネリックに切り替えてという感じの圧を感じる説明は必要ない。自分が服用するならジェネリックを希望するけれど、子どもには先発品の処方を希望。
2	高齢化で医療関連費は増大の一途になる。しかし、通院する患者の意識は低く、飲まない薬や変化のない治療（整形外科など）に健康保険がどれくらい支出しているかを知らしめて、患者教育は勿論のこと 医者のもうけ主義に警鐘を鳴らし保険料の支出をいかに削減するかを検討してもらいたい。
3	ジェネリック医薬品大いに推奨して頂きたいです
4	県ホームページに、かかりつけ薬局や健康サポート薬局がどこにあるのか紹介して欲しい。
5	新聞でのわかりやすい特集記事の掲載による啓蒙。たとえば、①薬の基本知識(効能、副作用、医療控除)②薬(ジェネリック)の留意点③お薬手帳などなど、いくつかの視点でとらえる。また、現場に携わる薬剤師の意見・アドバイスの発信があると吸収しやすい。
6	「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」は馴染みが無いが、せっかくつくったいい制度なので、なにがメリットなのか、PRをがんばってほしい。
7	健康サポート薬局に指定されているところは、お店に表示されているのでしょうか。今後気をつけてみることにします。
8	例にありますが、ジェネリック医薬品の利用に関して、薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明をしてほしいと思います。
9	薬を出す前に医師からの説明をきちんとして欲しい
10	医療費の削減の為に利用する
11	特になし 健康に気を付けて 病院へ行かないように生活する
12	高齢単身家庭が増えている状況のなかで、介護認定審査会で介護認定に携わっているが、薬服用について「飲み残し」が結構あると思われる。かかりつけ薬局等が高齢者家庭等の服薬管理をした場合やジェネリック医薬品の利用割合が一定の率を超えた場合に、「評価」する仕組みの導入が必要ではないか。
13	薬局できちんと最初に説明してほしい。
14	問9にも書いたが、患者は処方薬にジェネリックが有るかどうかは分からない。もし先発薬ならジェネリックに変更を伝えて欲しい。
15	ジェネリック医薬品を使う人が身近に居ると、色んなことを聞きやすい。医師や薬剤師には気軽に聞きにくい。

自由記入の内容

16	まだ持病などないので、あまり病院や薬局を利用することが少ないです。でも健康診断でB判定だったり、最近めまいがするなど不安が大きくなっています。薬の説明だけでなく、相談もできれば心強いなと思いました。
17	今のところ、定期的に薬を飲むようなことがないので、考える機会がないが、処方される前にジェネリック医薬品のメリット・デメリットを詳しく教えてもらえれば、自身の判断でいずれかを選ぶことができると思う。
18	ジェネリック医薬品には、正薬品と違って、効果がない薬がままある。よって、価格だけを取り上げるとジェネリック医薬品が良いと思われるが、薬の場合は主治医とよく相談をして、ジェネリック医薬品を使用すべきであると思っている。これは医師から聞いた話である。
19	薬剤師や医者から何の説明もないので自分のほうからたらきかけすることはできにくい
20	ジェネリック医薬品の貼り薬は以前よりはがれやすくて一寸使いにくい例えば湿布など。すぐはがれやすいので替えてもらった。
21	かかりつけ薬局、健康サポート薬局初めて聞きました、病院よこの調剤薬局で薬いただいています、そんな幅広くなく相談に乗る体制にないとおもわれます、薬の説明以外聞いたことがない。薬屋さんの方が制度を扱うことを躊躇されているのではめんどくさい、狭い、人がいない、この状態では理想を掲げるだけで。現場が動かないのでわ
22	自己負担がすくないのに、ジェネリック医薬品を 使用せず 飲まない薬を大量に捨てている現状が、医療費を膨大させている 特に高齢者は危機感を持つべきだ
23	ジェネリック医薬品は心配ないと思うが、先発医薬品はさらに進んでいってるのではないかと思うので、ちょっと躊躇する気持ちがある。
24	医師から、ジェネリック医薬品の効能の説明を、詳しくしてほしい。
25	「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」なんてものがあることを知らなかったのです。まだそういう人も多いのではないかと思うので問6のような手段での広報の強化をお願いします。
26	ジェネリックの医薬品があるかどうかを知る方法を教えてほしい。
27	私は健康サポート薬局を全く知りませんでした。定期的に調剤して頂き行っていますが、「健康サポート薬局」と「かかりつけ薬局」との歳がわかりません。「一定基準を満たしている薬局？私が行ってる薬局は満たしてる？満たしてない？」
28	今は定期的に薬は飲んでいないので、ジェネリックを勧められたことはないが、成分が同じで価格が安いのであれば、ジェネリックを選びたい。素人のこっちは言いにいので、先生や薬剤師から一言どっちがいいか聞いて欲しい。
29	徳島県内に健康サポート薬局はあるのですか。
30	効き目の面で よくないものがあると聞いたことがある 先発医薬品の発売元の会社の方が知り合いにいたので 開発・認可までの大変さを聞いたことがあります だから、安易にジェネリックに替えずらくなった

自由記入の内容

31	ジェネリック医薬品について副作用の心配がないのかなどの情報を積極的に説明して欲しい。
32	より 多く 増やして欲しいです。
33	ジェネリック医薬品は、調剤薬局を利用することにお話を聞くのですが、まだ使ったことはありません。低価格で内容は変わらないという認識はあるものの今まで通りの安心感が先にたってしまう。
34	ジェネリック医薬品は常に利用している
35	現在毎月の投薬に既にジェネリック医薬品を飲んでいますが、サプリメントの効能などと医薬品との係わり方を掛かりつけ薬局で相談したい
36	医師会や薬剤師会が地域での積極的な啓発活動を行うようにすべきではないであろうか。現在、当事者団体において啓発活動が行われているかもしれないが、広く周知されていないと感じる。
37	生活保護受給者にクスリ手帳の提示を義務づける。 また、ジェネリックに限定。
38	同じような効き目なら安く利用できる薬があることを教えて欲しいと思う。
39	後発医薬品の安全性について、全て安全か、副作用はないか気になります。
40	医者から処方煎を頂いて薬局で薬を頂いていますが、何回か市役所担当部署よりジェネリック医薬品との価格差額の案内がありますが、効能の差は記されていません。効能と安全性等の案内がもう少し詳しい説明が欲しい。服用残薬（残数）を薬局に報告しにくいところがあります。
41	まず、病院と薬局の連携がしっかりしていただきたい。
42	ジェネリック医薬品と先発医薬品の差を明確にしてほしいです ジェネリック医薬品の安全性や利点の説明をしてほしい
43	薬代を抑えるため積極的に推進して欲しい。
44	ジェネリック医薬品を使用していますが、名前がすごく長くて、今までの使用してた薬からジェネリックに変更した時に名前が覚えにくくて困りました。
45	ジェネリック医薬品は安いので医療費の負担が軽くなることの説明不足。本当にジェネリック医薬品を使わせなければ、公立の病院に使用させ。民間病院が使用しなければ罰を与えればいい
46	ジェネリック医薬品高くても出来る限り使用しないようにしている。ジェネリック医薬品の安全性とジェネリック医薬品と先発医薬品の違いがよく分からないので不安な為
47	副作用の有無を詳細に知りたい
48	私の地元では、薬局へ行くと、絶対に「ジェネリックでよろしいですか」と聞かれ、わからなければ毎度説明してくれた。徳島の薬局がどのようにしているかわからないが、私の地元のように勧めていけばほとんどの患者さんはジェネリック医薬品を使うと言ってくれると思う。私は勧められて断る理由は考えられなかった。地元は全国上位のジェネリック医薬品使用割合。

自由記入の内容

49	普段は、ドラッグストアの販売員に相談しながら一般用医薬品を購入しており、これらのことは、今後の課題だと思います。
50	ジェネリック医療薬品について、安心度が低いので、院外薬局で「ジェネリック薬品を希望しますか」と聞かれても、受けることができない。きちんと安全性や効能などを説明してもらいたいと思う。
51	かかりつけ薬局で、ジェネリック医薬品についての説明を受けたい。
52	ジェネリック医薬品のことは、医師や病院の受付、薬剤師から常に積極的に説明してほしい。
53	今までの経験で医師からは聞いたことはないが、初めて利用した薬局（今では、かかりつけ薬局となっている）の薬剤師から「ジェネリック医薬品を利用しますか？」と聞かれた。喜んで受け入れた。良心的な薬局だと思った。患者は処方箋を出す医師には言い辛いが、良心的な薬剤師から言ってもらえれば、患者は嬉しい。先ず、薬局に対して指導・要請する方が近道だと思う。
54	ジェネリック医薬品は、先発薬と同じ効き目があるかどうか。
55	オーソライズドジェネリック (AG) 医薬品について積極的に情報提供してほしい。普通のジェネリック医薬品とどう違うのか、選ぶことのメリット、どのくすりにはAGがあるのかなどわかりやすい説明があると、ジェネリック医薬品を使ってみようと思うきっかけになるのではないかな。
56	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの情報通信技術で薬の履歴管理ができるようにする。・ お薬手帳のICT電子お薬手帳化を行う。・ 保険証やお薬手帳等にジェネリック医薬品希望シールを貼り付ける。 ・ 徳島県薬務課と厚生労働省医政局経済課と一体となってジェネリック医薬品の普及促進を行う。 ・ 問8で、特に効用やききめについて知りたい。・ 問9で、公民館、市町村役場保険課でのお薬相談会
57	長期間通院し、同じ薬を出す医師は信用しても良いのかどうか？ 効き目を確認（医師は、患者の聞き取りだけを重視し、曖昧な病態を聞いて対応している。）しながら数値的な値から判断していない。これも患者数を稼ぐためにはやも得ないのか？ 高齢になって行く末が心配である。
58	ジェネリックに変更できる薬を、医師が処方箋に書いて欲しい。薬局で、ジェネリックに変更できるか聞く手間が面倒です。
59	医師が特に変更不可としていない限り、薬局側が率先しジェネリック医薬品への変更を勧めてほしい。
60	ジェネリック医薬品は種類が多いし、品質にバラつきがあるようなので、先発品と比べられるような表示をしてほしい。
61	ジェネリック医薬品を必ず医師から勧めてほしい
62	薬局によってジェネリックを積極的にすすめるところとそうでないところがあると思う。お薬手帳は持っているので、一度でも後発品を使用していたら、すすめてほしい。
63	医薬品に関する疑問や使用方法について説明して欲しい

自由記入の内容

64	家族がネットで花粉症の薬を買ってます 薬局で販売して無いので良く効くようです
65	もっとジェネリック医薬品について多くの人が知らなければならないと思う。
66	医療請求の削減。
67	ジェネリック医薬品に関することは、薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明をしてほしい。